

## 鉛及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	5.2	1.7	～	12
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	8.3	2.7	～	26
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	5.4	2.8	～	14
宮城県	遠田郡涌谷町	国設涌谷局	一般環境	11	4.5	0.30	～	11
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	11	5.5	～	35
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	11	3.3	～	31
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	9.1	2.5	～	24
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	9.5	3.2	～	26
埼玉県	熊谷市	熊谷局	一般環境	12	7.6	2.4	～	13
埼玉県	所沢市	北野測定局	一般環境	4	7.1	4.5	～	14
埼玉県	所沢市	教育センター	一般環境	12	10	2.3	～	20
埼玉県	加須市	環境科学国際C局	一般環境	12	8.9	2.3	～	21
埼玉県	東松山市	東松山局	一般環境	12	8.9	2.7	～	19
埼玉県	春日部市	春日部市役所	一般環境	12	9.7	4.9	～	16
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	13	6.8	～	23
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	17	6.3	～	26
新潟県	新潟市東区	大山局	一般環境	12	6.6	1.2	～	20
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	7.4	0.67	～	23
新潟県	長岡市	長岡工業高校局	一般環境	11	9.7	( < 1.0 )	～	24
新潟県	糸魚川市	糸魚川局	一般環境	12	10	( < 1.0 )	～	28
新潟県	南魚沼市	六日町局	一般環境	12	8.7	( < 1.1 )	～	25
新潟県	北蒲原郡聖籠町	次第浜局	一般環境	12	5.9	( 0.7 )	～	22
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	10	( 1.6 )	～	22
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	4.7	0.70	～	15
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	8.6	( 2.9 )	～	29
愛知県	名古屋市中千種区	国設名古屋局	一般環境	12	7.9	( 1.9 )	～	27
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	9.7	( 2.4 )	～	22
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	13	2.3	～	37
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	13	3.0	～	47
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	11	2.4	～	37
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	17	4.5	～	37
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	8.6	0.42	～	43
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	15	3.9	～	48
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	14	3.4	～	67
福岡県	大牟田市	国設大牟田局	一般環境	12	3.4	0.46	～	15
福岡県	大牟田市	国設大牟田局	一般環境	12	26	( < 20 )	～	110
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	2.8	0.21	～	9.7
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	1.7	0.20	～	4.2
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	1.7	0.12	～	5.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> < (該当月の検出下限値) <sup>?</sup> として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> (測定値) <sup>?</sup> として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 鉛及びその化合物(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	83	3.7	~ 430
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	22	3.3	~ 87
埼玉県	秩父市	秩父市役所	発生源周辺	12	6.4	1.7	~ 16
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	14	1.0	~ 25
新潟県	燕市	燕局	発生源周辺	12	6.6	( < 0.9 )	~ 19
新潟県	妙高市	大崎局	発生源周辺	12	5.8	( < 0.7 )	~ 18
新潟県	上越市	西福島局	発生源周辺	12	11	( 0.9 )	~ 26
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	4.4	1.2	~ 12
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	15	3.1	~ 44
大阪府	堺市西区	堺市浜寺局	発生源周辺	12	20	4.5	~ 37
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	8.9	0.99	~ 48
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	12	1.6	~ 32
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	2.7	0.73	~ 5.6
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	3.6	0.32	~ 9.2
福岡県	大牟田市	新地局	発生源周辺	12	46	( < 20 )	~ 90
大分県	津久見市	津久見市役所局	発生源周辺	12	15	0.42	~ 57

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 鉛及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	6.5	2.4	~ 21
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	14	7.3	~ 26
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	16	8.4	~ 31
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	14	4.5	~ 30
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	13	3.8	~ 40
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	11	4.2	~ 20
福岡県	大牟田市	上内局	沿道	12	23	( < 20 )	~ ( 61 )
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	2.2	0.52	~ 4.9

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\overset{?}{<}$  ( 該当月の検出下限値 ) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\overset{?}{(}$  ( 測定値 ) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

カドミウム及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.090	0.026	～	0.21
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.14	0.058	～	0.36
宮城県	遠田郡涌谷町	国設籠岳局	一般環境	11	0.15	0.0058	～	0.76
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.21	0.092	～	0.33
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	0.32	( < 0.09 )	～	1.1
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	0.32	( < 0.09 )	～	0.97
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	0.28	( < 0.09 )	～	0.97
埼玉県	熊谷市	熊谷局	一般環境	12	0.27	0.068	～	0.71
埼玉県	所沢市	北野測定局	一般環境	4	0.20	0.059	～	0.51
埼玉県	所沢市	教育センター	一般環境	12	0.29	0.048	～	0.56
埼玉県	加須市	環境科学国際C局	一般環境	12	0.23	0.079	～	0.46
埼玉県	東松山市	東松山局	一般環境	12	0.29	0.067	～	0.55
埼玉県	春日部市	春日部市役所	一般環境	12	0.29	0.11	～	0.59
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.26	0.076	～	0.54
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.38	0.041	～	0.98
新潟県	新潟市東区	大山局	一般環境	12	0.14	( 0.027 )	～	0.37
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.13	( < 0.020 )	～	0.40
新潟県	長岡市	長岡工業高校局	一般環境	11	(0.25)	( < 0.12 )	～	0.72
新潟県	糸魚川市	糸魚川局	一般環境	12	(0.23)	( < 0.12 )	～	0.60
新潟県	南魚沼市	六日町局	一般環境	12	(0.32)	( < 0.12 )	～	1.3
新潟県	北蒲原郡聖籠町	次第浜局	一般環境	12	(0.18)	( < 0.12 )	～	0.73
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.14	( < 0.05 )	～	0.44
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.10	( < 0.020 )	～	0.36
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.14	( < 0.05 )	～	0.29
愛知県	名古屋市中種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.15	( 0.04 )	～	0.47
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.14	( < 0.05 )	～	0.45
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.29	0.065	～	0.97
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.28	0.030	～	0.88
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.17	0.042	～	0.54
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.32	( 0.07 )	～	0.97
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.25	0.017	～	1.3
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.50	0.073	～	1.2
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.44	0.096	～	1.8
福岡県	大牟田市	国設大牟田局	一般環境	12	0.11	0.0093	～	0.42
福岡県	大牟田市	国設大牟田局	一般環境	12	2.3	( < 0.7 )	～	3.6
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.066	( 0.0027 )	～	0.19
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.055	0.0047	～	0.14
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.035	( 0.0014 )	～	0.090

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\overset{?}{<}$  (該当月の検出下限値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\overset{?}{(}$  (測定値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

カドミウム及びその化合物(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)		
						最小値	～	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	1.2	0.091	～	4.6
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1.8	0.067	～	6.4
埼玉県	秩父市	秩父市役所	発生源周辺	12	0.17	( < 0.045 )	～	0.47
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.48	0.020	～	1.5
新潟県	燕市	燕局	発生源周辺	12	(0.22)	( < 0.12 )	～	0.72
新潟県	妙高市	大崎局	発生源周辺	12	(0.27)	( < 0.13 )	～	1.4
新潟県	上越市	西福島局	発生源周辺	12	(0.24)	( < 0.12 )	～	0.73
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.13	0.027	～	0.46
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.17	( < 0.05 )	～ ( 0.40 )	
大阪府	堺市西区	堺市浜寺局	発生源周辺	12	0.36	( < 0.14 )	～	1.1
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.17	0.025	～	0.38
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.60	0.089	～	1.6
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.069	0.015	～	0.14
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.21	0.011	～	1.2
福岡県	大牟田市	新地局	発生源周辺	12	2.7	( < 0.7 )	～	5.6
大分県	津久見市	津久見市役所局	発生源周辺	12	0.47	( < 0.04 )	～	1.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

カドミウム及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.28	0.097	~ 0.71
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.28	0.081	~ 0.53
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.23 (	0.08 )	~ 0.51
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.19	0.049	~ 0.53
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.61	0.13	~ 3.0
福岡県	大牟田市	上内局	沿道	12	1.6 (	< 0.7 )	~ 3.4
佐賀県	鳥栖市	曹根崎局	沿道	12	0.057	0.0064	~ 0.17

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

クロロエタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.072	0.023	~ 0.12
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.047	( 0.017 )	~ 0.080
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.035	( 0.007 )	~ 0.064
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.071	0.048	~ 0.086

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{〃}}$  < (該当月の検出下限値)  $\text{ }^{\text{〃}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{〃}}$  (測定値)  $\text{ }^{\text{〃}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

クロロエタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.071	0.034	~ 0.17
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.095	0.036	~ 0.18
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.044	0.019	~ 0.065

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



1.1-ジクロロエタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	(0.012)	( < 0.020 )	~ ( 0.023 )
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	(0.011)	( < 0.020 )	~ ( 0.023 )
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0092)	( < 0.005 )	~ ( 0.028 )
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	(0.011)	( < 0.020 )	~ ( 0.024 )
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	(0.015)	( < 0.020 )	~ ( 0.038 )
東京都	八王子市	大楽寺町局	一般環境	12	(0.0047)	( < 0.0022 )	~ 0.012
東京都	八王子市	片倉町局	一般環境	12	(0.0049)	( < 0.0022 )	~ 0.014
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	(0.010)	( < 0.020 )	~ ( < 0.020 )
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0045)	( < 0.005 )	~ ( 0.015 )
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0027)	( < 0.005 )	~ ( < 0.005 )
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0027)	( < 0.005 )	~ ( < 0.005 )

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < ( 該当月の検出下限値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 ( 測定値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1-ジクロロエタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.0069)	( < 0.005 )	~ 0.021
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	(0.014)	( < 0.020 )	~ ( 0.028 )
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.0078)	( < 0.005 )	~ ( 0.016 )
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	(0.014)	( < 0.020 )	~ ( 0.041 )
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0033)	( < 0.005 )	~ ( 0.010 )

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < ( 該当月の検出下限値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 ( 測定値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1,1,1-トリクロロエタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	銚子市	銚子唐子局	一般環境	12	(0.031)	( < 0.06 )	~ ( < 0.06 )
千葉県	館山市	安房保健所	一般環境	12	(0.030)	( < 0.05 )	~ ( < 0.06 )
千葉県	成田市	成田加良部局	一般環境	12	(0.031)	( < 0.06 )	~ ( < 0.07 )
千葉県	鴨川市	清澄無線局	一般環境	12	(0.030)	( < 0.05 )	~ ( < 0.07 )
千葉県	君津市	君津久保局	一般環境	12	(0.029)	( < 0.05 )	~ ( < 0.06 )
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.063	0.052	~ 0.078
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.044	0.034	~ 0.059
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.041	0.033	~ 0.050
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.050	0.031	~ 0.096
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.047	0.033	~ 0.063
徳島県	鳴門市	鳴門局	一般環境	12	0.086	0.017	~ 0.33

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1.1-トリクロロエタン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	市原市	市原岩崎西局	発生源周辺	12	(0.034)	( < 0.06 )	~ ( 0.08 )
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	12	(0.030)	( < 0.05 )	~ ( < 0.06 )
徳島県	阿南市	大湯局	発生源周辺	12	0.083	0.016	~ 0.34
徳島県	板野郡北島町	北島局	発生源周辺	12	0.17	0.032	~ 0.99

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1,1,1-トリクロロエタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.059	( 0.051 )	~ 0.070
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.062	0.050	~ 0.074
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.044	0.030	~ 0.057
徳島県	徳島市	自排徳島局	沿道	12	0.090	( 0.011 )	~ 0.34

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{①}}$  < ( 該当月の検出下限値 )  $\text{ }^{\text{②}}$  として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{①}}$  ( 測定値 )  $\text{ }^{\text{②}}$  として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

トリメチルベンゼン類(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	3.2	1.3	~ 16
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.7	0.69	~ 4.0
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.3	0.32	~ 4.3
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	2.2	0.58	~ 5.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

トリメチルベンゼン類(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.1	1.6	~ 3.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	5.3	2.4	~ 8.4
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	3.2	1.4	~ 5.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC11(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	銚子市	銚子唐子局	一般環境	12	1.3	1.0 ~	1.5
千葉県	館山市	安房保健所	一般環境	12	1.3	1.1 ~	1.4
千葉県	成田市	成田加良部局	一般環境	12	1.4	1.2 ~	1.8
千葉県	鴨川市	清澄無線局	一般環境	12	1.3	1.0 ~	1.4
千葉県	君津市	君津久保局	一般環境	12	1.3	1.1 ~	1.4
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	1.7	1.5 ~	1.8
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	1.4	1.0 ~	2.3

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



## CFC11 (発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	市原市	市原岩崎西局	発生源周辺	12	1.4	1.2	~ 1.8
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	12	1.3	1.1	~ 1.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『<(該当月の検出下限値)』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『(測定値)』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC11(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	1.7	1.6	~ 1.9
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1.6	1.3	~ 1.8

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC12(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	3.1	2.8 ~	3.4
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	2.6	1.8 ~	4.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC12(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	3.1	2.8	~ 3.3
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.0	2.4	~ 3.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC113(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	銚子市	銚子唐子局	一般環境	11	0.39	0.27	~ 0.56
千葉県	館山市	安房保健所	一般環境	11	0.39	0.29	~ 0.54
千葉県	成田市	成田加良部局	一般環境	11	0.41	0.29	~ 0.54
千葉県	鴨川市	清澄無線局	一般環境	11	0.39	0.29	~ 0.54
千葉県	君津市	君津久保局	一般環境	11	0.40	0.30	~ 0.53
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.69	0.60	~ 0.76
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.55	0.43	~ 0.76

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC113(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
千葉県	市原市	市原岩崎西局	発生源周辺	11	0.44	0.30	~ 0.62
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	11	0.40	0.30	~ 0.51

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『<(該当月の検出下限値)』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『(測定値)』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC113(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.70	0.63 ~	0.79
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.67	0.51 ~	0.75

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## CFC114(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.12	0.11	~ 0.14
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.11	0.075	~ 0.17

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



## CFC114(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.12	0.11	~ 0.13
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.12	0.093	~ 0.14

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC22(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.0	1.4 ~	3.0
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	1.0	0.68 ~	1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC22(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.3	1.8	~ 3.2
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	2.0	1.3	~ 2.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC123 (一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.011)	( 0.006 )	~ ( < 0.03 )

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC123 (沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		
						最小値	～	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.060	( < 0.008 )	～	0.43
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.012)	( < 0.006 )	～	( 0.032 )

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC134a(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.40	0.27	~ 0.61

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC141b(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.32	0.22	~ 0.51
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.16	0.11	~ 0.24

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC141b(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.27	0.20	~ 0.35
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.30	0.19	~ 0.43

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



HCFC142b(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.14	0.12	~ 0.18
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.097 (	0.064 )	~ 0.15

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC142b(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.15	0.12	~ 0.18
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.14	0.11	~ 0.18

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC225ca(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.022)	( 0.014 )	~ 0.054

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC225ca(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		
						最小値	～	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.026)	( < 0.016 )	～	0.078
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.040	( < 0.016 )	～	0.079

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC225cb(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.024)	( 0.015 )	~ 0.062

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

HCFC225cb(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.029)	( 0.016 )	~ 0.078
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.041	( < 0.024 )	~ 0.084

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

バリウム及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	15	7.8	~ 29
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	13	3.5	~ 29
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	15	7.4	~ 43
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	12	4.8	~ 22

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

バリウム及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	43	28	69
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	61	30	99
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	18	7.9	29

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



## セリウム及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.74	0.41	~ 1.2
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.53	( 0.13 )	~ 1.6
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.0	( 0.16 )	~ 3.6
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.75	( 0.19 )	~ 1.8

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> < (該当月の検出下限値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> (測定値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## セリウム及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.79	0.54	~ 1.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1.5	0.88	~ 2.6
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.74	0.26	~ 1.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## チタン及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	45	11 ~	110
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	27	16 ~	43
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	30	6.5 ~	64
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	65	8.3 ~	270
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	43	13 ~	100

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## チタン及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	49	18	~ 130
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	38	14	~ 59
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	72	20	~ 170
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	48	22	~ 86

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 鉄及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	640	170	~ 1400
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	620	160	~ 1500
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	550	140	~ 1200
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	1000	410	~ 1700
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	500	81	~ 1300
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	820	200	~ 2700
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	550	170	~ 1100

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 鉄及びその化合物(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
大分県	津久見市	津久見市役所局	発生源周辺	12	540	73	~ 1100

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) 』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 鉄及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	1600	700	~ 2100
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1900	510	~ 3300
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	580	240	~ 1200

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ ( 該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アントラセン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.0098	0.0023	~ ( 0.019 )
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.25	( < 0.04 )	~ 0.60
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.12	( < 0.03 )	~ 0.31
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.20	( 0.06 )	~ 0.42

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> < ( 該当月の検出下限値 )<sup>?</sup>として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、<sup>?</sup> ( 測定値 )<sup>?</sup>として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



アントラセン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.0078	( < 0.0016 )	~ 0.025
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.017	( < 0.0015 )	~ 0.038
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	11	0.42	0.19	~ 0.80

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < ( 該当月の検出下限値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 ( 測定値 ) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[g,h,i]ペリレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.27	0.071	~ 0.47
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.47	0.068	~ 1.6
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.54	0.070	~ 1.4
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.36	0.078	~ 1.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[g,h,i]ペリレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.28	0.058	~ 0.86
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.25	0.020	~ 0.51
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.50	0.068	~ 1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## アセトン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	6.4	4.6	~ 8.1
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	3.8	2.4	~ 7.8
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	4.8	2.2	~ 8.6
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	4.1	1.9	~ 7.0
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	5.2	2.2	~ 10
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	9.0	4.7	~ 14
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	9.7	5.9	~ 15
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	11	2.3	~ 22
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	8.5	4.6	~ 16
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	13	8.4	~ 19
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	10	4.8	~ 20
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	6.1	0.34	~ 16
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	9.8	5.8	~ 14
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	2.4	0.51	~ 6.1
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.5	0.35	~ 3.9
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	3.0	1.4	~ 7.8
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	3.3	1.1	~ 7.7
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	3.0	1.1	~ 5.8
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	7.6	2.7	~ 14
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	6.6	2.4	~ 13
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	5.1	1.5	~ 10
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	3.4	1.0	~ 10
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	4.6	1.3	~ 19
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	3.3	0.15	~ 7.4
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	3.9	0.69	~ 7.4
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	6.1	2.8	~ 10
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	4.4	2.4	~ 7.4
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	5.2	2.5	~ 8.6
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	4.4	0.72	~ 7.6
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	26	3.5	~ 88
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	15	2.8	~ 68
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	8.9	2.6	~ 19
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	26	5.2	~ 89
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	19	5.1	~ 33

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アセトン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	3.9	1.9	~ 6.4
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	8.3	5.3	~ 12
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	12	5.7	~ 22
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	15	7.8	~ 24
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	14	6.1	~ 23
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	5.1	1.4	~ 9.7
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	3.7	1.2	~ 9.0
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	3.6	0.81	~ 6.6
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	16	1.9	~ 31
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	37	5.5	~ 100

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 } (\text{測定値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アセトン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	7.9	3.0	~ 22
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	11	6.4	~ 16
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	8.6	5.9	~ 17
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	8.5	6.1	~ 14
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	2.3	0.89	~ 5.3
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	4.1	0.48	~ 18
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	4.2	1.4	~ 7.2
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	5.0	2.0	~ 9.2
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	31	2.4	~ 100

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} (\text{測定値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

イソプロピルアルコール(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.74	( < 0.11 )	~ 1.4
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.21	( 0.09 )	~ 0.34
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.33	( < 0.11 )	~ 0.63
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	0.36	( 0.08 )	~ 1.4
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.43	( < 0.11 )	~ 1.4
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.73	0.16	~ 1.9
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1.9	0.66	~ 8.6
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	7.4	1.5	~ 25
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.7	1.3	~ 5.6
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	1.7	0.81	~ 3.1
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.71	0.46	~ 1.7
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.42	( < 0.06 )	~ 2.0
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.64	0.21	~ 1.6
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.14	( < 0.06 )	~ 0.63
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.16	( < 0.06 )	~ 0.92
愛知県	名古屋千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.25	( < 0.06 )	~ 0.77
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.13	( < 0.06 )	~ 0.78
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	(0.054)	( < 0.06 )	~ 0.28
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	8.8	0.71	~ 26
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	5.2	0.33	~ 19
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.46	0.21	~ 0.92
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.30	( < 0.06 )	~ 0.78
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.26	( < 0.06 )	~ 1.2
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.33	( 0.047 )	~ 1.1
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.42	( 0.06 )	~ 2.4
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	1.2	0.32	~ 3.8
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.44	0.14	~ 0.94
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.67	( 0.21 )	~ 2.1
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.57	0.10	~ 1.1
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.61	( 0.08 )	~ 1.6
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.66	( 0.12 )	~ 4.7
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.22	( < 0.03 )	~ 0.56
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	1.9	0.12	~ 7.6
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.61	0.25	~ 1.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

イソプロピルアルコール(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.26	( 0.10 )	~ 0.47
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.65	( 0.19 )	~ 2.1
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.66	0.074	~ 1.5
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	1.8	0.58	~ 3.3
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	9.4	1.2	~ 27
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.42	( < 0.06 )	~ 1.6
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.58	( 0.08 )	~ 1.6
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.42	( 0.034 )	~ 1.2
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.95	( 0.07 )	~ 2.8
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	1.6	( 0.10 )	~ 4.1

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



イソプロピルアルコール(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	1.6	( 0.33 )	~ 7.1
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	2.8	1.0	~ 5.2
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.0	0.48	~ 3.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1.4	0.47	~ 2.2
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.24	( < 0.06 )	~ 0.83
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.28	( < 0.06 )	~ 2.5
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	1.1	0.11	~ 3.9
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	2.6	0.38	~ 9.6
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.96	( 0.09 )	~ 3.9

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## メチルエチルケトン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.83	0.24	~ 1.7
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.34	0.20	~ 0.55
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	1.0	0.24	~ 2.1
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	0.38	( < 0.13 )	~ 0.80
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.44	( < 0.09 )	~ 0.97
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.1	0.29	~ 2.9
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	2.4	1.1	~ 4.9
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	9.9	4.3	~ 22
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.2	0.80	~ 4.6
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	2.2	0.71	~ 4.1
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.98	0.50	~ 1.9
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.50	( < 0.07 )	~ 0.97
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.85	0.24	~ 2.1
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.26	( < 0.07 )	~ 0.90
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.49	( 0.08 )	~ 1.5
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.48	( < 0.07 )	~ 0.97
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.50	( < 0.07 )	~ 2.5
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.21	( < 0.07 )	~ 0.52
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	3.7	0.46	~ 8.5
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	2.2	0.64	~ 4.2
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.61	( 0.20 )	~ 2.8
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.53	( 0.18 )	~ 0.98
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.25	( < 0.07 )	~ 0.75
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.47	( 0.10 )	~ 1.5
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.44	0.17	~ 0.66
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.68	0.36	~ 1.4
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.58	0.22	~ 1.1
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1.1	0.28	~ 2.7
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.60	0.17	~ 1.0
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	3.0	( 0.14 )	~ 14
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	2.0	( 0.22 )	~ 12
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.64	( < 0.05 )	~ 1.6
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	1.9	0.23	~ 5.7
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	1.5	0.36	~ 3.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## メチルエチルケトン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.55	( 0.21 )	~ 1.7
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.49	( 0.27 )	~ 0.75
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1.3	0.30	~ 2.5
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	2.6	1.0	~ 4.9
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	2.4	0.80	~ 5.6
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.77	( 0.20 )	~ 1.9
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.49	0.19	~ 1.2
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.49	0.094	~ 1.7
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	1.2	( 0.11 )	~ 5.2
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	3.7	( 0.12 )	~ 11

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メチルエチルケトン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	3.1	1.3	~ 12
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	4.5	1.8	~ 8.6
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.0	0.89	~ 3.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1.8	0.89	~ 2.8
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.34	( < 0.07 )	~ 0.90
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.27	( < 0.07 )	~ 1.4
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	1.5	0.33	~ 2.7
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.90	0.35	~ 1.9
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	3.1	0.43	~ 11

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>< (該当月の検出下限値) <sub>?</sub>}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>(測定値) <sub>?</sub>}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 酢酸エチル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	1.7	( 0.15 )	~ 5.8
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.31	( < 0.08 )	~ 1.1
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.47	( < 0.15 )	~ 1.0
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	0.26	( 0.13 )	~ ( 0.53 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.37	( < 0.15 )	~ 0.86
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.0	0.32	~ 3.3
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	3.6	1.2	~ 8.0
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	15	4.8	~ 28
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	9.7	4.2	~ 34
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	3.7	0.92	~ 8.0
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.5	0.73	~ 3.2
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	1.2	0.30	~ 4.8
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.70	0.12	~ 2.2
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1.0	( 0.27 )	~ 3.4
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	4.4	( 0.16 )	~ 20
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	6.5	( 0.09 )	~ 26
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.0	( < 0.08 )	~ 4.5
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.59	( < 0.08 )	~ 2.1
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	10	0.70	~ 28
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	3.5	0.23	~ 9.4
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	2.1	0.36	~ 4.6
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	2.2	0.79	~ 3.7
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	1.8	( < 0.08 )	~ 7.8
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.66	( 0.07 )	~ 4.1
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.21	( < 0.023 )	~ 0.55
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	1.3	0.58	~ 2.3
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.51	0.27	~ 1.0
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1.1	0.39	~ 1.9
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.70	0.32	~ 1.5
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	1.2	( 0.10 )	~ 2.3
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	2.3	( < 0.14 )	~ 7.8
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	1.1	( 0.17 )	~ 6.1
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.86	( 0.14 )	~ 2.2
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	2.8	( 0.49 )	~ 16

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 酢酸エチル(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.39	( 0.13 )	~ 0.80
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1.2	( 0.37 )	~ 2.2
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1.6	( 0.17 )	~ 3.7
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	4.4	0.69	~ 8.5
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	2.5	1.1	~ 7.4
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	1.7	( 0.27 )	~ 4.3
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.33	( 0.08 )	~ 0.56
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.57	0.11	~ 1.5
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.89	( < 0.14 )	~ 2.5
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	2.2	( 0.25 )	~ 6.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 酢酸エチル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	5.3	2.1	~ 18
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	9.6	2.6	~ 20
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	4.7	1.3	~ 9.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	4.5	1.7	~ 7.1
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	2.7	0.42	~ 8.2
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	4.2	0.38	~ 35
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	2.3	0.41	~ 5.4
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	2.3	0.31	~ 8.0
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	2.4	0.61	~ 8.8

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} (\text{測定値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1-ブタノール(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.24	( 0.12 )	~ ( 0.48 )
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	(0.15)	( 0.11 )	~ 0.36
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.18	( < 0.09 )	~ 0.63
宮城県	遠田郡涌谷町	国設龜岳局	一般環境	11	(0.14)	( < 0.09 )	~ ( 0.34 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.35	( < 0.10 )	~ 2.0
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.3	0.18	~ 3.5
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1.3	0.26	~ 3.8
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	1.4	0.41	~ 3.8
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.36	( 0.20 )	~ 0.65
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	1.1	0.46	~ 2.3
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.4	0.26	~ 2.7
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.74	( < 0.06 )	~ 5.2
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.96	0.29	~ 2.8
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.39	( < 0.06 )	~ 1.5
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.82	( < 0.06 )	~ 6.7
愛知県	名古屋千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.65	( 0.12 )	~ 1.6
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.0	( < 0.06 )	~ 6.5
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.54	( < 0.06 )	~ 1.8
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	10	0.70	0.25	~ 1.3
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	10	0.85	( < 0.017 )	~ 2.0
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.58	( 0.11 )	~ 1.8
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.32	( < 0.06 )	~ 1.2
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.29	( < 0.06 )	~ 0.85
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.32	( 0.10 )	~ 0.89
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.23	( < 0.07 )	~ 0.72
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.47	0.18	~ 1.4
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.24	( 0.11 )	~ 0.43
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.20	( 0.08 )	~ 0.40
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.22	( 0.11 )	~ 0.32
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	4.1	( < 0.11 )	~ 11
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	53	12	~ 130
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	4.2	( 0.12 )	~ 25
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	4.6	0.33	~ 15
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	7.6	( 0.20 )	~ 16

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



1-ブタノール(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.26	( 0.10 )	~ 1.4
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.37	( < 0.10 )	~ 1.7
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.85	0.32	~ 2.6
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	1.1	0.30	~ 2.3
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.4	0.25	~ 3.8
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.56	( 0.12 )	~ 1.5
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.27	( 0.10 )	~ 0.62
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.27	( 0.11 )	~ 0.94
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	4.3	( 0.15 )	~ 18
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	17	( 0.20 )	~ 76

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1-ブタノール(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	1.2	( 0.21 )	~ 7.3
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	1.6	0.48	~ 5.0
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.26	( < 0.17 )	~ ( 0.52 )
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.33	( 0.17 )	~ 0.54
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.23	( < 0.06 )	~ 0.92
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.39	( < 0.06 )	~ 2.7
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.25	( 0.07 )	~ 0.42
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.56	0.17	~ 1.6
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	9.5	0.29	~ 67

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>< (該当月の検出下限値) }$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>(測定値) }$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メチルイソブチルケトン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	(0.063)	( < 0.04 )	~ ( < 0.22 )
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	(0.062)	( < 0.04 )	~ ( < 0.22 )
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	(0.069)	( < 0.04 )	~ ( < 0.22 )
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	(0.060)	( 0.030 )	~ ( < 0.22 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	(0.091)	( < 0.04 )	~ 0.27
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.082	( 0.05 )	~ 0.18
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.34	0.16	~ 0.90
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	0.68	0.24	~ 1.5
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.28	0.16	~ ( 0.48 )
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.46	0.29	~ 0.67
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.13	( 0.05 )	~ 0.28
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.22	( < 0.12 )	~ 0.61
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.075	( < 0.03 )	~ 0.18
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.25	( < 0.12 )	~ 0.65
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.38	( < 0.12 )	~ 0.90
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.43	( < 0.12 )	~ 0.76
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.20	( < 0.12 )	~ 0.51
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.14	( < 0.12 )	~ ( 0.35 )
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.66	0.17	~ 1.8
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.56	0.10	~ 2.4
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.47	0.19	~ 1.5
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.24	( < 0.12 )	~ 0.44
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.25	( < 0.12 )	~ 0.76
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.18	( 0.035 )	~ 0.61
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	(0.048)	( < 0.019 )	~ ( 0.11 )
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.44	0.16	~ 0.91
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.29	0.081	~ 0.66
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.24	( 0.09 )	~ 0.67
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.15	( 0.051 )	~ 0.35
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.34	( 0.10 )	~ 0.86
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.39	( < 0.08 )	~ 2.6
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.34	( < 0.11 )	~ 1.3
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.34	( < 0.11 )	~ 0.99
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.21	( < 0.13 )	~ 0.77

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メチルイソブチルケトン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	(0.090)	( < 0.04 )	~ ( < 0.22 )
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	(0.080)	( 0.032 )	~ ( < 0.22 )
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.17	( 0.04 )	~ 0.42
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.45	0.26	~ 0.70
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.23	( 0.08 )	~ 0.46
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.91	( 0.26 )	~ 2.6
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.10	( 0.037 )	~ 0.22
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.15	( 0.045 )	~ 0.28
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.40	( < 0.11 )	~ 1.2
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.98	( < 0.12 )	~ 2.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < ( 該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 ( 測定値) 』として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メチルイソブチルケトン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	0.74	( 0.07 )	~ 5.1
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	1.1	0.24	~ 2.7
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.20)	( 0.10 )	~ ( 0.40 )
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.25	( 0.10 )	~ ( 0.63 )
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.16	( < 0.12 )	~ 0.42
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.82	( < 0.12 )	~ 4.2
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	1.2	( 0.10 )	~ 3.5
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.82	( 0.11 )	~ 1.9
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.38	( < 0.11 )	~ 1.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>< (該当月の検出下限値) }$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{<sup>?</sup>(測定値) }$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酢酸ブチル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.34	( < 0.08 )	~ 1.9
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	(0.091)	( < 0.08 )	~ ( < 0.28 )
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	(0.18)	( < 0.08 )	~ ( 0.32 )
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	(0.098)	( < 0.08 )	~ ( < 0.28 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	(0.17)	( < 0.08 )	~ ( 0.47 )
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.23	( 0.08 )	~ 0.56
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.62	0.26	~ 0.99
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	1.2	0.43	~ 2.9
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.70	( 0.45 )	~ 1.3
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.76	0.39	~ 1.1
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.25	( 0.15 )	~ 0.65
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.61	( < 0.17 )	~ 1.5
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.16	( < 0.04 )	~ 0.32
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1.1	( 0.40 )	~ 2.4
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.1	( < 0.17 )	~ 2.8
愛知県	名古屋千種区	国設名古屋局	一般環境	12	1.3	( 0.30 )	~ 2.7
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.61	( < 0.17 )	~ 1.7
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.42	( < 0.17 )	~ 0.76
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	10	1.4	0.26	~ 4.4
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	10	1.0	0.21	~ 3.2
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.84	( 0.31 )	~ 1.7
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.55	( 0.27 )	~ 0.89
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.47	( < 0.17 )	~ 1.4
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.24	( 0.05 )	~ 1.2
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.081	( < 0.04 )	~ 0.16
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.81	0.23	~ 2.2
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.37	( 0.19 )	~ 0.68
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.44	( 0.09 )	~ 1.3
高知県	南国市	南国大塚測定局	一般環境	12	0.36	( 0.049 )	~ 1.2
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	2.3	( 0.15 )	~ 6.5
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	5.9	0.73	~ 29
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	1.2	( < 0.16 )	~ 3.3
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	1.9	( 0.29 )	~ 5.8
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	2.8	( < 0.20 )	~ 9.9

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 酢酸ブチル(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.35	( < 0.12 )	~ 1.0
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.53	( < 0.08 )	~ 1.1
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.29	( 0.06 )	~ 0.62
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.73	0.32	~ 1.3
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.2	0.48	~ 2.0
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	1.1	( 0.26 )	~ 3.2
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.18	( 0.07 )	~ 0.31
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.24	( < 0.03 )	~ 0.49
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	3.2	( < 0.21 )	~ 11
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	3.6	( < 0.20 )	~ 11

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## 酢酸ブチル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	6.0	0.61	~ 38
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	1.6	0.37	~ 4.0
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.55	( 0.39 )	~ ( 0.70 )
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.63	( 0.30 )	~ 0.95
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.33	( < 0.17 )	~ 0.72
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	2.7	( < 0.17 )	~ 23
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.50	( 0.09 )	~ 1.3
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.89	0.40	~ 2.7
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	2.9	( 0.23 )	~ 12

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ}$  < (該当月の検出下限値)  $\text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ}$  (測定値)  $\text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



1.3.5-トリメチルベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.19	( 0.029 )	~ 0.39
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.15	( 0.041 )	~ 0.44
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.12	( 0.026 )	~ 0.25
宮城県	遠田郡涌谷町	国設亀岳局	一般環境	11	(0.021)	( 0.020 )	~ ( < 0.05 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.13	( 0.032 )	~ 0.22
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.096	0.048	~ 0.16
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.18	0.089	~ 0.28
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	0.20	0.12	~ 0.37
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.32	0.24	~ 0.54
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.22	0.14	~ 0.40
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.15	0.096	~ 0.40
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.20	( 0.05 )	~ 0.36
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.13	0.062	~ 0.21
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.21	0.16	~ 0.39
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.33	( < 0.016 )	~ 0.72
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.26	( 0.044 )	~ 0.61
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.47	0.055	~ 2.9
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.22	( < 0.016 )	~ 0.78
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.30	0.11	~ 0.82
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.24	0.049	~ 0.79
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.26	0.12	~ 0.51
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.37	0.18	~ 0.83
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.46	0.089	~ 0.94
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.091	( < 0.004 )	~ 0.19
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.011	( < 0.003 )	~ 0.053
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.32	0.14	~ 0.81
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.13	0.060	~ 0.25
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.12	0.012	~ 0.22
高知県	南国市	南国大塚測定局	一般環境	12	0.076	0.012	~ 0.16
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.16	( 0.024 )	~ 0.71
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.028	( < 0.013 )	~ 0.092
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.050	( < 0.011 )	~ 0.11
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.12	( 0.029 )	~ 0.40
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	(0.014)	( < 0.013 )	~ ( 0.030 )

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.3.5-トリメチルベンゼン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.17	( 0.066 )	~ 0.52
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.089	( 0.035 )	~ 0.17
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.13	0.017	~ 0.20
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.22	0.078	~ 0.42
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.22	0.098	~ 0.57
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.28	( < 0.09 )	~ 0.67
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.058	( < 0.004 )	~ 0.10
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.081	( < 0.004 )	~ 0.23
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.11	( < 0.014 )	~ 0.24
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.11	( < 0.015 )	~ 0.27

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.3.5-トリメチルベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	0.40	0.16	~ 1.4
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	0.42	0.16	~ 0.95
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.36	0.27	~ 0.50
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1.0	0.45	~ 1.7
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.34	0.20	~ 0.72
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.33	0.12	~ 0.94
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.22	0.039	~ 0.41
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.20	0.060	~ 0.33
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.11 ( )	0.031 ( )	~ 0.19

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

デカン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.71	0.15	~ 1.6
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.56	0.18	~ 1.3
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.47	0.14	~ 0.95
宮城県	遠田郡涌谷町	国設龜岳局	一般環境	11	0.093 (	0.06 )	~ 0.19
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.47	0.17	~ 0.83
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.27	0.14	~ 0.60
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.68	0.35	~ 1.3
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	0.78	0.46	~ 1.6
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.2	0.76	~ 4.8
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.77	0.38	~ 1.1
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.29	0.23	~ 0.38
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.75	0.22	~ 1.8
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.38	0.24	~ 0.70
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1.0	0.51	~ 2.0
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.0	0.20	~ 2.1
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	1.1	0.13	~ 2.0
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.5 (	0.058 )	~ 5.6
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.63	0.29	~ 1.3
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.90	0.30	~ 2.2
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.78	0.18	~ 1.9
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.96	0.38	~ 1.4
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	1.1	0.65	~ 2.3
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	1.4	0.37	~ 3.0
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.25 (	0.016 )	~ 0.66
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.085 (	0.017 )	~ 0.19
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.76	0.24	~ 1.6
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.46	0.12	~ 1.4
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1.8	0.39	~ 5.2
高知県	南国市	南国大塚測定局	一般環境	12	0.22	0.074	~ 0.43
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.19 ( <	0.021 )	~ 0.62
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.081 ( <	0.021 )	~ 0.34
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.079 ( <	0.019 )	~ 0.20
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.18 ( <	0.021 )	~ 0.80
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.11 ( <	0.021 )	~ 0.31

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

デカン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.97	( 0.17 )	~ 2.3
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.38	0.095	~ 0.70
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.42	0.067	~ 0.66
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.87	0.40	~ 1.3
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.65	0.29	~ 1.8
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	1.0	0.44	~ 2.1
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.30	0.061	~ 0.83
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.49	( < 0.011 )	~ 1.6
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.22	( < 0.022 )	~ 1.3
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.15	( < 0.023 )	~ 0.49

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

デカン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	0.62	0.30	~ 1.7
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	1.2	0.53	~ 1.9
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	1.1	0.57	~ 1.7
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.7	1.5	~ 9.8
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.96	0.40	~ 2.5
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	1.5	0.54	~ 4.2
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.53	0.14	~ 1.3
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.48	0.067	~ 1.2
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.17	( < 0.021 )	~ 0.47

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

n-ブタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	2.7	1.1	~ 6.5
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	2.2	0.50	~ 4.3
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	2.3	0.84	~ 5.1
宮城県	遠田郡涌谷町	国設籠岳局	一般環境	11	0.74	0.11	~ 1.5
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	3.5	0.97	~ 6.3
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.7	0.64	~ 4.8
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	3.8	1.5	~ 5.7
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	4.2	1.4	~ 13
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	6.1	3.4	~ 11
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	4.8	1.4	~ 9.1
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.9	0.95	~ 3.8
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	2.2	1.0	~ 4.8
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	1.8	0.45	~ 5.4
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	2.7	2.0	~ 5.2
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	2.8	0.55	~ 4.8
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	3.7	1.1	~ 9.1
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.6	0.60	~ 3.7
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	2.4	0.85	~ 7.3
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	4.7	2.2	~ 9.1
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	3.4	0.71	~ 6.3
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	3.5	1.8	~ 6.0
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	4.1	2.4	~ 9.1
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	3.2	1.6	~ 5.5
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	2.5	0.73	~ 4.8
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.49	0.032	~ 1.1
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	5.0	2.6	~ 12
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	3.8	1.5	~ 12
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	2.0	0.87	~ 3.8
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	1.9	0.81	~ 3.6
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	3.0	1.8	~ 4.6
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.89	0.20	~ 1.7
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	1.1	0.23	~ 1.7
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	3.4	1.3	~ 6.9
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.57	0.12	~ 1.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

n-ブタン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	1.4	0.78	~ 2.4
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1.9	0.71	~ 4.0
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1.9	0.32	~ 3.7
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	5.0	1.5	~ 8.5
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	2.7	0.74	~ 5.7
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	6.5	1.8	~ 15
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	2.2	0.92	~ 3.3
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	1.8	0.28	~ 3.9
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	3.0	0.28	~ 6.2
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	3.8	1.9	~ 6.1

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



n-ブタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	4.6	1.6	~ 12
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	5.4	1.7	~ 8.2
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	7.4	5.4	~ 10
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	7.3	5.3	~ 14
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	4.8	1.8	~ 11
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	3.3	1.3	~ 11
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	4.6	0.94	~ 15
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	2.5	1.2	~ 4.5
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	3.7	0.20	~ 7.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} (\text{測定値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

イソブタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	2.0	0.78	～	5.4
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	1.5	0.35	～	3.1
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	1.4	0.56	～	3.5
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	0.44	( 0.071 )	～	0.84
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	2.5	0.55	～	4.6
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.4	0.53	～	3.5
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	3.1	1.1	～	4.8
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	2.9	1.0	～	8.9
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	4.4	2.3	～	8.4
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	3.5	0.92	～	7.7
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.2	0.57	～	2.3
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	1.5	0.60	～	3.4
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	1.3	0.28	～	3.6
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1.8	1.2	～	3.1
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.5	0.27	～	2.9
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	2.2	0.50	～	6.6
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.1	0.41	～	2.2
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	2.1	0.60	～	7.3
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	3.8	1.6	～	8.6
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	2.5	0.46	～	5.0
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	2.6	1.4	～	5.1
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	3.5	1.5	～	8.5
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	2.4	1.1	～	4.0
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	1.4	0.48	～	2.9
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.40	0.061	～	0.94
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	4.3	2.0	～	11
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	2.8	0.94	～	8.8
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1.4	0.55	～	2.1
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	1.4	0.43	～	2.9
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	2.2	1.1	～	3.2
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.76	0.14	～	2.5
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.87	0.14	～	1.6
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	2.4	1.3	～	4.7
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.46	0.11	～	0.90

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

イソブタン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.91	0.48	~ 1.6
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1.4	0.44	~ 3.2
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1.3	0.24	~ 2.6
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	3.7	0.88	~ 7.9
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.7	0.43	~ 4.4
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	3.8	0.85	~ 7.9
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	1.7	0.94	~ 3.2
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	1.2	0.24	~ 2.3
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	2.2	0.12	~ 5.0
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	2.5	1.2	~ 4.3

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

イソブタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	2.6	1.1	~ 5.0
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	4.9	2.2	~ 7.4
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	5.5	3.8	~ 7.1
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	5.1	3.2	~ 9.7
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	3.7	0.97	~ 8.5
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	2.2	0.79	~ 8.5
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	2.9	0.57	~ 14
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	1.7	0.96	~ 3.2
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	2.5	0.11	~ 4.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} (\text{測定値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

n-ペンタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	1.1	0.30	～	2.4
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	1.0	0.22	～	2.0
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	1.3	0.24	～	3.5
宮城県	遠田郡涌谷町	国設籠島局	一般環境	11	0.34	0.062	～	0.61
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	1.9	0.24	～	5.1
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.86	0.35	～	3.6
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1.3	0.58	～	1.9
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	2.2	0.56	～	10
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.1	1.1	～	3.2
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	2.4	1.1	～	5.2
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.0	0.44	～	1.7
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	1.0	0.37	～	1.7
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	1.0	0.39	～	2.6
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1.2	0.72	～	2.3
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.3	0.53	～	2.2
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	1.3	0.56	～	2.5
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.72	0.31	～	1.3
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	1.0	0.35	～	2.8
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.3	0.55	～	2.3
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.4	0.35	～	2.8
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	1.4	0.56	～	2.2
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	2.2	1.3	～	3.8
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	1.7	0.78	～	2.8
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.79	0.40	～	1.5
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.23	0.073	～	0.53
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	2.3	1.2	～	6.1
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	1.3	0.49	～	2.7
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.84	0.30	～	1.5
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.97	0.38	～	1.8
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	2.0	0.99	～	3.2
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.38	0.13	～	0.75
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.51	0.13	～	1.1
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	1.3	0.71	～	2.2
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.46	0.096	～	1.0

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

n-ペンタン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.86	0.36	~ 1.5
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.90	0.20	~ 1.8
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.86	0.28	~ 1.7
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	2.5	1.2	~ 5.2
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.5	0.58	~ 3.0
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	3.3	0.57	~ 6.6
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	1.1	0.35	~ 1.8
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.93	0.2	~ 2.2
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	1.1	0.15	~ 2.7
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	1.1	0.59	~ 1.8

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 } (\text{測定値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

n-ペンタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	2.4	1.3	~ 5.2
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	2.3	0.95	~ 4.1
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.5	1.6	~ 3.3
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	4.7	2.1	~ 6.4
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	2.4	0.90	~ 4.2
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	1.5	0.72	~ 3.7
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	2.8	0.33	~ 11
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	2.3	0.82	~ 4.8
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	1.3	0.16	~ 2.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\circ} (\text{測定値}) \text{ }^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

cis-2-ブテン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.14	( 0.037 )	~ 0.46
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.099	( 0.025 )	~ 0.24
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.11	0.036	~ 0.31
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	(0.010)	( < 0.008 )	~ ( < 0.028 )
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.30	( 0.021 )	~ 0.88
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.087	0.025	~ 0.39
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.11	0.022	~ 0.25
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	0.20	0.038	~ 1.2
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.22	0.088	~ 0.53
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.21	0.073	~ 0.52
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.069	0.023	~ 0.20
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.11	( < 0.016 )	~ 0.26
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.076	0.019	~ 0.21
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.12	( < 0.019 )	~ 0.33
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.089	( < 0.008 )	~ 0.22
愛知県	名古屋千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.10	( < 0.016 )	~ 0.37
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.029	( < 0.005 )	~ 0.082
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.13	( < 0.016 )	~ 0.49
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.16	0.052	~ 0.48
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.15	0.064	~ 0.33
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.16	( < 0.016 )	~ 0.28
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.21	( < 0.011 )	~ 0.70
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.24	( < 0.006 )	~ 0.40
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.11	0.047	~ 0.33
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	(0.0077)	( 0.004 )	~ ( 0.020 )
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.24	0.12	~ 0.58
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.11	0.024	~ 0.27
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.091	( 0.020 )	~ 0.19
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.088	0.023	~ 0.20
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.17	0.088	~ 0.31
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	(0.0099)	( < 0.011 )	~ ( 0.028 )
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.037	( < 0.011 )	~ 0.083
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.17	0.058	~ 0.40
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.029	( < 0.011 )	~ 0.090

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。



## cis-2-ブテン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.075	( 0.024 )	~ 0.13
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.082	( < 0.013 )	~ 0.23
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.072	0.016	~ 0.21
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.19	0.051	~ 0.52
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.12	0.026	~ 0.31
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.79	0.18	~ 2.0
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.21	0.034	~ 0.83
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.044	( < 0.006 )	~ 0.18
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.12	( < 0.011 )	~ 0.31
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.14	0.051	~ 0.57

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 } (\text{測定値}) \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## cis-2-ブテン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	0.26	0.10	~ 0.97
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	0.33	0.062	~ 1.2
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.22	0.12	~ 0.42
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.38	0.18	~ 0.63
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.48	( < 0.016 )	~ 1.5
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.13	( < 0.016 )	~ 0.64
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.28	0.056	~ 1.2
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.16	0.049	~ 0.34
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.14	( < 0.010 )	~ 0.24

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ウンデカン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.56	0.13	～	0.95
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.43	0.22	～	0.70
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.35	0.16	～	0.54
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鶴岳局	一般環境	11	0.12	0.063	～	0.22
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.48	0.17	～	0.89
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.18	0.035	～	0.34
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	0.36	0.21	～	0.59
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	0.34	0.19	～	0.68
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	1.1	0.46	～	2.9
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	0.42	0.25	～	0.60
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.20	0.015	～	0.34
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	0.42	( < 0.027 )	～	1.2
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.25	0.15	～	0.48
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.53	0.18	～	0.95
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1.4	0.27	～	4.8
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	0.68	0.11	～	1.1
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.3	( 0.039 )	～	7.1
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.22	( < 0.017 )	～	0.59
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.1	0.27	～	2.8
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	2.0	0.19	～	6.6
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	0.45	( < 0.017 )	～	0.98
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	0.74	0.18	～	1.3
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	0.63	( 0.17 )	～	1.4
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.48	( 0.07 )	～	2.7
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.42	( 0.036 )	～	2.4
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	0.68	0.15	～	2.7
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.55	0.11	～	1.8
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.98	0.15	～	2.8
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.31	0.052	～	1.2
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	0.18	( < 0.05 )	～	0.86
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.26	( < 0.05 )	～	1.1
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.14	( < 0.05 )	～	0.55
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.20	( < 0.05 )	～	0.63
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.19	( < 0.05 )	～	0.99

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) ]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ウンデカン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	0.86	( 0.15 )	~ 2.2
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.31	0.14	~ 0.55
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.26	0.10	~ 0.53
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	0.41	0.20	~ 0.71
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	0.38	0.19	~ 0.95
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	0.54	( 0.14 )	~ 1.1
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.53	( < 0.015 )	~ 3.0
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.49	( < 0.014 )	~ 2.3
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.28	( < 0.05 )	~ 2.4
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.14	( 0.04 )	~ 0.41

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{( 該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 ( 測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ウンデカン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	0.48	0.29	~ 0.82
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	0.58	0.30	~ 1.1
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.79	0.48	~ 1.3
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.4	0.59	~ 12
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	0.67	( < 0.027 )	~ 1.4
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	0.95	0.37	~ 2.1
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.58	0.16	~ 2.9
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	0.58	0.074	~ 3.0
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.14	( < 0.05 )	~ 0.54

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## メタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	1600	1500	~ 1700
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	1600	1400	~ 1800
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	1600	1400	~ 1700
宮城県	遠田郡涌谷町	国設籠岳局	一般環境	11	1600	1400	~ 1800
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	1600	1400	~ 1800
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1400
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1300	1100	~ 1500
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	1700	1600	~ 1800
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	1300	1200	~ 1500
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1900	1200	~ 3600
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1400
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	1200	1100	~ 1400
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
島根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	1400	1300	~ 1400
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
高知県	南国市	南国大塚測定局	一般環境	12	1300	1200	~ 1400
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	1200	1100	~ 1300
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	1300	1200	~ 1300
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	1200	1200	~ 1300
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	1300	1200	~ 1300
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	1200	1200	~ 1300

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## メタン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	1600	1400	~ 1700
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1600	1400	~ 1700
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1300	1200	~ 1400
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	1300	1200	~ 1400
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1200	1200	~ 1300
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	1200	1100	~ 1300
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	1300	1300	~ 1400
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	1300	1300	~ 1400
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	1200	1200	~ 1300
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	1200	1100	~ 1300

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 } (\text{測定値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

## メタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	濃度範囲( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	1600	1400	~ 1700
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	1300	1100	~ 1400
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	1600	1400	~ 1700
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	1700	1600	~ 1800
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	1200	1100	~ 1300
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	1300	1200	~ 1500
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	1300	1200	~ 1400
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	1300	1200	~ 1400
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	1200	1100	~ 1300

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。